

令和4年度

こども園における自己評価

八尾市立西郡そよかぜこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を發揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
職員運営に管理づいて	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しまことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	
	・公文書収受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	
	・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
	・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互恵性のある交流になるように工夫しているか。	4	
	・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
	・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
	・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
	・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	
	・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
	・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	3	園だより・園長だより・ポートフォリオを通して教育・保育内容の理解に努めているところだが、ホームページでの発信に力を入れていきたい。
	・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	3	関係諸機関に自己評価を開示し、ご意見をいただきながら次年度に活かしていきたい。
	・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4	
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4	
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4	
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	

成果

- ・今年度の研究テーマ「心も体も元気いっぱい！笑顔あふれることも園～だれもが心地よいことも園をめざして～」を掲げ、全クラス園内研究会を実施しました。園内研究会をすることで子どもたちの興味・関心を多面的に見取り、一人ひとりにあった援助や環境を学び合うことができ、子どもたちが育ち合う保育を大切に職の質の向上を図ることができた。
- ・毎月のカリキュラムの記入方法を再検討することで、園児一人ひとりが自ら好きな遊びを見つけ、心地よく過ごすことをねらいとするものとした。
- ・毎月の学習会では、職員が直面している課題や学びたいことを出し合い、全職員が参加し学び合っている。
- ・コロナ禍において、普段の保育や行事のもち方を見直し、子どもにとって今何が一番大切なかを丁寧に検討し工夫した行事を行った。
- ・今年度、実施した小・中学校との交流では、小・中学校の児童・生徒が作製した玩具で遊んだ事が刺激となり、交流後は園児が自ら玩具を作り楽しむ姿が見られた。また、自園の公開保育に小・中学校の職員に参加してもらうことでこども園の児童の実態や教育保育内容を知ってもらうことができ、互いの学びとなった。
- ・園だより・園長だより・クラスノート・ポートフォリオなどで、乳幼児の教育・保育の在り方、好きな遊びからの学びなどを伝えてきたことで、子ども主体の教育・保育を保護者の方にも少しずつ理解していただくことができた。
- ・特別支援教育・保育支援ゼミでの公開保育では、インクルーシブ教育・保育である“育ち合う仲間づくり”を大切に一人ひとりに寄り添った教育・保育を心がけ、子どもの一番の理解者となる職員集団となるよう意識や気持ちを高めた。この実践を大阪府教育センター研修にて発表し、子どもの内面の見取り方を深めた。
- ・栄養士の食育指導や農園での栽培活動を通して、食に興味・関心をもち、苦手な食物も食べてみようとする姿につながった。
- ・看護師の保健指導を通して、学んだことを実践し自分の体を大切にしようとする心が育まれている。
- ・“命のおはなし”的活動では、妊娠のお腹の中の赤ちゃんの心音を聞いたり、3キロの赤ちゃん人形を抱っこしたり、自分や友だちの心音を聞いたりする体験をした。家族から自分が産まれた時の話を聞くことで、愛されている喜びを感じ、自分の命がとても大切であると感じる経験となった。
- ・地域交流「ひろば」では、アットホームな雰囲気の中、子育ての悩みなどを職員に気軽に相談できる場となっている。
- ・在宅家庭向けの一時預かり保育事業では、保護者が安心して預けるようにすることで、安定して園生活を過ごし自分の好きな遊びを見つけて楽しむことができるようになっている

課題

- ・小・中学校での交流では、互いに実りのある交流ができるように事前に話し合いをもったが、コロナ禍であり課題も残った。
- ・こども園として大切にしている子ども主体の教育・保育を地域や市民の方に広く発信するためのホームページ作成の知識が必要である。
- ・保育の記録からPDCAサイクルのもと子どもの発達や成長を捉え、遊びの連続性を大切にした保育を進めることが必要である。
- ・園内研究会を実践するうえでの時間の捻出が難しい。

改善策

- ・様々な関係諸機関と交流を実施する際には、互いのねらいが達成できるよう年度当初に計画をたてて実施していく。
- ・市民の方に取り組みを知ってもらうために、関心をもってもらえるようなホームページの作成に取り組む。また、地域の方に意見をいただきながら改良していく。
- ・次年度は年度当初に、保育の記録の書き方の学習会を行う。
- ・園内研究会の指導案検討会議のもちかた、回数などを工夫する。
- ・あい桂こども園・老人センター・桂青少年会館・八尾北高校との交流など、次年度の実施に向けて話し合う機会をつくっていく。